

## 春の進学シーズン！ 教育費はいくらかかる？

■ライフプランにあわせて、早めのスタートが肝心です

入学、進学の季節になりました。ママとしては楽しい時期でもありますが、結構思わぬ出費もあり複雑なシーズンですよ。私の子供も晴れて保育園に通うことになり、園服やかばんなどの備品をそろえたら結構お値段がしてびっくりしました。

さて、教育資金はライフプランの中でも3大支出のひとつといわれています。住宅や老後に匹敵する大きな金額です。しかも子供の人数や進学希望により結構変動もあるため、しっかりと計画的に貯めることが大切です。お金がないから子供の希望した学校に行かせられない！という事態にならないようにしっかりと、いつ、いくら必要か把握していきましょう！

■幼稚園・保育園〜高校まで費用はいくらかかる？

豊橋の幼稚園は現在28園、保育園は民間と公立を合わせて55園あります。保育園はご家庭の所得に

あわせて保育料が決まりますが、上限は月額48,000円/一人、0円までとなります。幼稚園は各園で異なりますが授業料・納付金制・バス代等を含め平均すると年間30万〜40万程度のお金が必要となります。

小学校になると義務教育です。授業料はゼロですが給食費や画用紙など共同で購入するものがあるため、年間5〜6万円程度が必要となります。公立の中学校は年間12万円程度が多いようです。しかし私立の小学校、中学校となると金額はかなり違い、小学校は年間80万円前後、私立中学校は年間100万円前後となります。高校は公立高校なら一年間で35万円前後、私立高校80万円前後となります。幼稚園〜公立の小・中・高で通うと280万円程度、幼稚園〜公立小学校、私立中学、私立高校に進むと670万円程度かかる計算になります。(お稽古、塾費は入っていません)

■本番はここから！専門、大学はいくらかかる？

高校卒業後に進む進路は子供の将来を大きく左右すると思われるので、できれば子供の希望に沿った進路に行かせてあげたいものですね。まずはいくらかかるかチェックしましょう！大学ですが、私立大学は学部によってかなり差があります。私立文系、理系は入学金が30万円前後、二年間の授業料として文系は70万円前後、理系は100万円前後です。国立大学の入学金は30万円前後と私立とかわりませんが、授業料は50万円程度と私立よりも抑え目です。歯科歯科になると6年通うことになり、6年間で1,000万円はかかると思われれます。専門学校は短期間で即戦力として手に職をつけることができるため人気が高まっています。通う学校によって習得する技術も違うため、授業料にも幅があります。また昼間部、夜間部もあり夜間部の方が安いケースが多いようです。

■結局、いくらかかる？いつが貯め時？

子供が生まれてから成人するまで20余年。幼稚園から大学までを計算してみると、私立にいくか公立にいくかでかなり違いが出てくる

ことがわかっていただけかと思えます。幼稚園から小、中、高、私立4大文系4年生コースという典型的なパターンでいくと、約700万円程度(塾費用、習い事なし)がかかりますし、一人暮らしとなれば毎月の仕送りが月7万円程度は必要と思われれます。一番お金がかかるのは大学進学時、貯められるのは生まれてから高校までの18年間。入学金と1、2年生の授業料で150〜200万円程度。もし進学しなくても車が欲しい、なんてことも。目標額200万円÷18年÷12ヶ月≒約9,259円≒10,000円は毎月貯蓄していかるといいですね！

ナビゲーター

ファイナンシャルプランナー 伊藤 由美子

豊橋市在住



ファイナンシャルプランナーとして、住宅ローン、相続、保険の見直しを中心に相談業務を行う。  
HPは[FP伊藤由美子]で検索！  
日本ファイナンシャルプランナーズ協会所属  
2児のママ FP伊藤由美子による  
「実践教育資金 ちょっと買い貯め方セミナー」  
4/18(土)「子ども未来館 ココニコ」10:00~12:00  
先着20名限定(無料) ※HPよりご予約下さい  
当日、保育士による託児有り  
※希望の方は人数も明記下さい。